

刊 夕
行 發 日 九 月 七
天 氣 豫 報
今 晩 も 明 日 も 東 東 の 風 小 雨

萬葉集の草花から (下)

内 田 生
高圓の野邊の容花面影に見つゝ妹は忘れかねつ

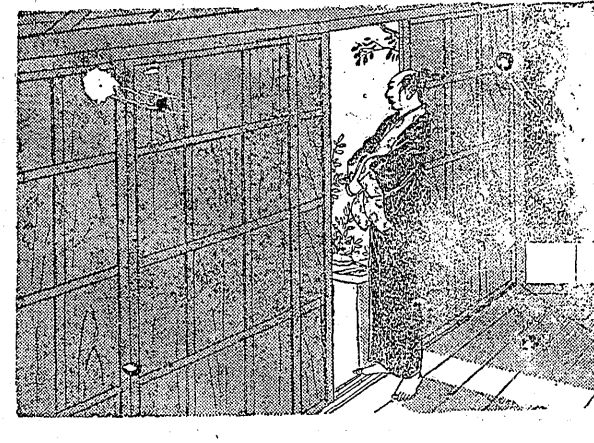
月草のうつろひ易く思へ。五月雨の晴間間に咲くかも昔思人の言もつげ
露草はまた人目の目を引く程でもなく、尤も土地に
月草に衣を染むる君が爲よつて早い遅いはあらうが
またらの衣を染むる君が爲よつて早い遅いはあらうが
またらの衣を染むる君が爲よつて早い遅いはあらうが

夢 現にすぎ行く
此頃の吾が心の思さ
戀する資格あらじと
あしの岸邊に
一人 佇みて 寂しく
悲しく
ささやかし秋の黄昏を
思ひなば
思ひなば
思ひなば

惱みの日
山田 進
二人は、息を殺して、草
原に隠れた。

隠密小天狗
中川雨之氏作
近藤 鐵氏書
二人は、息を殺して、草
原に隠れた。

初夏となる頃
岸川 幸三郎
林道は若葉あまねく輝りふかみいさゞ疲れの暇
に残りけり
○はつ夏のよそはひすがしたもよよりふくらみ風
の肉を弄ぶ
○鉢植の八重チューリップは霞中来て開くべくあ
らむ玉はくれつ
○大いなる希望ごとく寄りてくる生れまく近き
子と思へば
○われならぬ生活の鼓動をたてよ妻のおもひも極
まるし



二人は、息を殺して、草
原に隠れた。
二人は、息を殺して、草
原に隠れた。
二人は、息を殺して、草
原に隠れた。

吉田眼科醫院

平市紺屋町 電話六八八番
醫學士 吉田 久

大幸館

私には平市出身ですから特に郷里の
皆様方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄
電話下谷園六七番

磐城の御みやげ品

靈峰羊羹 (名産柿煉)
製法 平屋賣店
電話三三番

夏期水價廣告

昭和三十二年七月一日
福島縣製氷工業組合
平市 一貫五匁以上 拾五錢
一貫五匁以下 拾參錢
内郷、湯本、好間 一貫五匁 拾七錢
草野、上田、小川 一貫五匁 拾七錢
勿木、植田 一貫五匁 拾七錢
小名 拾五錢
泉 拾五錢
四 拾五錢

靈効散

胃腸藥
阿康藥局
電話四四四番

田間乳牛

斷然一賣行よし
信用と品質を
共に備つて
電話五二番

水野化粧院

健康美時代に潑刺と
オゾン美顔術
婦人御洋服に
パーマメント 値段(全部四圓
平市駅前 電話(營業六七八
自宅五二五

平製氷

魚肝油
電話二二番

常陽證券株式會社

株は一株から、債券一枚より賣買致
します
水戸市泉町二丁目 (電話六〇〇番
一五八二番)
平 支店 電話七八四・七八五
高萩 支店 電話二一九番
久慈郡大子町(電話二九番)

お醤油は...

山崎合名會社
電話(營業部)一〇番
(本 店)二七番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

